

基調講演 BIM から CIM へ

～建設生産システムのイノベーションに向けて～

■講演者 佐藤 直良 Sato, Naoyoshi

国土交通省 技監

【略 歴】 平成17年10月 国土交通省大臣官房 技術調査課長
平成18年 7月 同 大臣官房 技術審議官
平成20年 7月 同 中部地方整備局長
平成21年 7月 同 河川局長
平成23年 1月 同 技監

■講演概要

少子高齢化社会の本格的な到来、国家財政の逼迫、社会インフラの老朽化の進行等の国内諸問題を始め、環境、エネルギー、経済等の世界的な問題に直面している今、国家・国民の発展・繁栄に資するべく、強力な国土形成・保全を進めていく必要がある。

そのため、土木技術により貢献すべき課題として、広く建設事業全般における生産性の向上、つまり、限られた貴重な人的、物資的、金銭的な投資により、より大きな品質、安全、環境等の効果を発揮することが挙げられる。近年、目覚ましい発展を遂げるICT（情報通信技術）を、建設事業に上手く適用し、建設事業全体の画期的な生産性向上、建設生産システムのイノベーションの実現に向けた取組、目指す方向性を紹介。

- **BIM (Building Information Modeling)の世界的な潮流**
 - ・ 標準化、プロジェクト事例、政府の動き
- **BIM の国内動向**
 - ・ プロジェクト、民間の動向
- **土木分野における BIM 導入のねらい**
 - ・ 少子高齢化社会への適応、建設事故抑制、生産性向上
- **土木分野における ICT 活用の海外動向**
 - ・ 情報化施工、三次元設計情報
- **土木分野における ICT 活用の日本の現状**
 - ・ CALS、情報化施工、IC タグ、情報共有 等
- **‘CIM (Construction Information Modeling)’ の実現に向けて**
 - ・ 計画、設計、施工、維持管理の一連の過程における関連情報の有効活用、全体の最適化、更なる質の向上